

いばらき柔道整復師会ニュース



平成28年

12/28(水)

Vol.56

市川善章会長の 帰一功労賞受賞祝賀会が盛大に開催される



市川善章会長の帰一功労賞受賞祝賀会が各界代表や会員など175名が列席して盛大に開催されました

11月23日、水戸プラザホテルにおいて、帰一功労賞受賞祝賀会が盛大かつ和やかに開催されました。この祝賀会は柔道整復師界のみならず多方面にわたり、社会貢献、地域貢献に多大なる尽力をされている、本会の市川善章会長が、公益社団法人日本柔道整復師会の最高栄誉賞である帰一功労賞を受賞されたことを機に、会員諸氏から「是非お祝いをさせていただきたい」と言う声が高まり、一ツ柳明副会長を発起人代表にして開催されたもので、各界のそうそうたる方々をお招きし、本会会員、職員など総勢175名が列席し、市川会長の栄誉を称え祝いました。

祝賀会は大勢の列席者が見守る中、司会の眞中進総務部長が「市川善章会長ご夫妻をお迎えしたいと思います」との発声で入場した市川会長は、奥様と共に満面の笑みで入場され、広い会場が拍手の渦に包まれました。登壇した市川ご夫妻は深々とお辞儀をし感謝の意を表されました。

竹藤敏夫副会長の開会のことばから始まり、発起人代表のあいさつ、ご来賓の茨城県議会議員 伊沢勝徳様、同じく安藤真理子様、茨城県柔道連盟会長 萩原榮様、学校法人花田学園 東京有明医療大学理事長 櫻井康司様、茨城県土浦警察署署長 小山秀夫様、総合病院 水戸協同病院スポーツ医学センター長 平野篤様、そして最後に帰一賞を授与した公益社団法人日本柔道整復師会会長の工藤鉄男様が祝辞を述べられました。

来賓の方々は口を揃えて市川会長のリーダーシップ能力、対外折衝能力を認め、「バイタリティーで豪快かつ繊細さを合い持った面倒見のいい人物だ」などと、過去のエピソードを交え褒め称えていました。

次に本会及び職員、市川整骨院門下生、二人のお

孫さんから記念品や花束の贈呈があり、特にお孫さんから花束のプレゼントを贈られた際には、お爺ちゃんとしての笑顔で嬉しそうに受け取っていました。

続く謝辞で市川会長は、祝賀会を開催していただいたこと、そして来賓、会員並びに関係者の方々に多数ご出席をいただいたことに対し、感謝とお礼を述べられました。

そして、今回の受賞は、今まで私を支えて来てくださった方々のご支援ご協力によるものであり、これからもよろしく願いしたい旨を言われ、続いて自分が信条としている、会員同士の「和」、「絆」をこれからもより深め、この帰一功労賞に恥じないよう、今後も業界の発展のため、また県民の健康保持増進のために一意専心尽くして参りたいと決意を表されました。

その後、本会顧問 土浦市議会議員の松本茂男様の祝杯の音頭により祝宴が始まりましたが、皆が自分のことのように慶び会食、歓談のひと時となりました。途中のアトラクションでは市川会長の地元土浦市の、新川囃子新友会の皆さんによる笛や太鼓による賑やかなおはやしや、ひょっとこのお面を被ったユーモアある踊りを披露し会場を盛り上げました。続くアトラクションはお孫さんで小学6年生の市川瑞規ちゃんが可愛いと言うより美しいフラダンスを踊ってくれました。このアトラクションからも市川会長の地元愛、家族愛が伺える一幕でした。

最後に公益社団法人群馬県柔道整復師会会長 大藤忠昭様の音頭で声高らかに万歳三唱を行い、発起人理事代表である谷中照男保険部長の閉会のことばにより、記念すべき市川善章会長の帰一功労賞受賞祝賀会がお開きとなりました。(広報部長 荒井健吉)

「地域包括ケアシステム」に対応した、 指導者向け「リハビリ体操講習会」を開催

柔道整復業界を取り巻く環境は、年ごとに厳しさを増すだけでなく、高齢化社会のさらなる進展に伴い地域のニーズも変化してきています。そうした時代の流れに対応する業務活動が求められる中、県西支部では近年話題となることの多い「地域包括ケアシステム」に注目し、その分野に参入するための新しい柔整業務を創り出す布石として、指導者向けの「元気あっぷ体操講習会」を開催しました。

・県西支部会員対象の、「元気あっぷ体操」講習会

今多くの自治体が介護予防事業の一環として、「元気あっぷ体操」を含むリハビリ体操の普及に積極的に取り組んでいます。そうした中、県西支部会員を対象とした「元気あっぷ体操講習会」が、10月2日(日)に常総市立鬼怒中学校の武道館で行われました。

今回の講習会は、マスコミでもたびたび取り上げられる「地域包括ケアシステム」に、我われ柔道整復師が「元気あっぷ体操」を通して専門技術や知識を生かし、より地域に密着した新たな業務活動を展開するという主旨で開催されたものです。

また、この講習会会場の使用にあたっては、常総市で長年、地域活動実績を持つ瀧本健司会員の尽力により実現しました。

当日の講習会は、公益社団法人茨城県柔道整復師会介護部から渡邊義行部長、荘司智也、高田敬両副部長が多忙のところ講師として協力していただき、熱のこもった丁寧な指導をしてくださいました。

講習会の前半は渡邊部長から、「地域包括ケアシステム」参入への道を拓くために知っておくべき情報や、介護予防事業について詳しい専門知識などの講義がありました。

後半は荘司、高田両副部長から現在各地で行われている「元気あっぷ体操」の具体的な運動メニューや実践的な指導方法、受講者が負傷しない注意事項など、楽しい雰囲気をつくりながら教えていただきました。

・地域の介護予防事業で、新たな業務を創出するために

渡邊部長の講義では、「地域包括ケアシステム」の中で柔道整復師には、リハビリテーション専門職として新しい業務拡充の可能性があることを提案し、一般介護予防事業として、地域のリハビリテーション活動を支援する業務活動が見込まれることなどを示しました。

また、新しいサービスとして緩和されたデイサービスや、接骨院をリハビリ体操の場として地域の住民に提供し、憩いの場をつくること。短期集中介護予防サービスとして、公共の場で体操指導を行う機

会があることなど、参入可能な分野を多角的に分析しました。

渡邊部長は、実際に地元で介護予防関連事業を立ち上げて得た経験や、自院で行ってきたリハビリ体操指導の具体的な取り組み方法など、受講者が理解しておくべきポイントを会員目線で分かりやすく解説しました。会員自身も、ある程度は知っているが正確に理解していない情報が多く含まれていたため、安心した表情で聞き入っていました。

・効果的な運動メニューを、学びながら楽しく体験

後半の実技の時間では、講義の中で解説されたりリハビリ体操について指導を受けながら、ウォーミングアップやリズム体操、各種道具を使った運動プログラムなどをグループに分かれレクリエーション形式で行いました。

手指を順番に工夫して曲げる運動、上肢の上げ方や下肢の位置を組み合わせた複合運動、一列に並び風船を頭ごしや前かがみになり手渡して競う運動、風船とうちわを使ったりリレー競争運動などを学びながら楽しく体験しました。

そして、実際に体験して気づいたことは、リハビリ体操は試してみると内容が予想以上に複雑で、体力的にもかなりきつく、会員たちは笑顔を見せながらも、やや汗を浮かべながら行っていました。

また、各種の実技項目に取り組んでいるうちになごやかさを増し、懇親会的な雰囲気になり各グループで積極的に意見が交わされ、講習会はさらに充実したものとなりました。(広報委員 早乙女聡)



ウォーミングアップのあと、各種道具を使ったリハビリ体操に取り組んだ参加者

保険取り扱い等講習会開催

11月12日(土) ひたちなか市文化会館小ホールにて、本会主催、茨城県後援による保険取り扱い等講習会が開催されました。土曜日の夕方という時間にもかかわらず、会員248人、非会員105人という多くの方々の参加を得ることができ、関心度の高さを示すものとなりました。

講習会は一ツ柳明副会長の開会のことばで始まり、市川善章会長が、「柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く、と柔道整復師倫理綱領にあるが、正しく倫理綱領を理解し、地元地域住民との信頼関係を構築し上質な医療を提供しなければならない」とあいさつされました。

続いて、茨城県保健福祉部厚生総務課国民健康保険室の馬淵勝則係長より「受領委任制度の概要及び柔道整復療養費の改定等について」、全国健康保険協会茨城支部の仲田幸成業務グループ長より「保険取り扱い上の留意事項について」、損害保険料率算出機構水戸自賠責損害調査事務所の神農光義所長より「自賠責保険(共済) 損害調査のしくみについて」の説明がありました。

馬淵係長からは、柔道整復に係る療養費の概要、受領委任の承諾・登録、初めて受領委任の取り扱いを行う場合など、基本的な説明の後、指導監査要綱について指導の目的や形態(集団指導・個別指導)、指導の対象や流れをご説明いただきました。仲田業務グループ長からは、協会けんぽの現状・加入者、保険給付、給付の制限また主な返戻理由などのお話があり、神農所長からは、自賠責保険の概要、請求方法、請求の時効その他特殊な事例など具体例をあげて説明をいただきました。

休憩を挟んだ後、総合病院水戸協同病院スポーツ医学センター長の平野篤先生より「施術録の意義とその根拠について」講演をいただきました。ここでは平野先生の勤務されている病院で過去に受けた保険指導の事例などを紹介していただき、施術録は医学的法的正当性で証明するものであるということと、記載の仕方、記載されなくてはならない事項等分かりやすく丁寧にご説明いただきました。その後、質疑応答があり、竹藤敏夫副会長が閉会のことばを述べて終了となりました。(広報委員 根本光昭)



多くの会員が参加をして関心度の高さを示す講習会となった

第25回日整全国少年柔道大会 茨城県チーム惜しくも準優勝



茨城県選出の大会役員と選手

10月9日、東京文京区の講道館大道場において、公益社団法人日本柔道整復師会が主催する文部科学大臣杯争奪第25回日整全国少年柔道大会が開催されました。

この大会は、柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的に、公益活動の一貫として毎年行われています。

第21回・22回と優勝の実績がある茨城県チームは、僅差の試合を制しながらも、強豪ぶりを発揮し勝ち進みましたが、決勝戦で前年度優勝チームの千葉県に1対2で敗れ、惜しくも返り咲き優勝を逃しました。

試合はトーナメント方式で、1回戦シード、2回戦山梨県に4-0で圧勝しての好スタートを切りましたが、続く3回戦は昨年3位の兵庫県に1-1から代表戦を制し僅差で競り勝ちました。その後の4回戦長野県には2-0、準決勝戦は東京都Aに3-1で順調に勝ち進み、3年ぶりとなる優勝を手中にしたかと思われましたが、前年度優勝チームの千葉県に惜しくも1-2で破れ、奪還の優勝は成りませんでした。

県予選を開催し選手選抜に携わった本会の市川会長は「決勝戦は技術的には五分五分だった。優勝した千葉県は勝ちに対する執念が勝っていた。来年に期待したい」と戦いを振り返っていました。チームを指揮した眞中進監督は「大変厳しい戦いの中よく頑張ってくれた。子供たちに感謝したい」と健闘を称えていました。

今大会の取材観戦を終え、記者の私を感じたことは、茨城県チームの子供達は粘り強い試合運びをしていた。そして満員の観客席で茨城県の父兄の応援が一番熱心であった。来年は今年よりも明るい記事が書けそうです。(広報部長 荒井健吉)



健闘を称えた監督と選手

第1回水戸黄門漫遊マラソン ～ランナーケアで参加



水戸支部より10名がランナーケアスタッフとして参加しそれぞれの知識や技術を発揮した

水戸支部 宮部和浩

10月30日(日)第1回水戸黄門漫遊マラソンが開催され、全国から1万5千人を超えるランナーが集結し盛大に開催されました。

本会からは、ランナーケアスタッフとして水戸支部より嶋崎英恭、藤田博美、藁谷和彦、久保田浩将、新井俊行、高田敬、岩本勝久、早川好機、種村高之、宮部和浩会員ら10名が参加し、それぞれの知識や技術を発揮して貴重な経験をしました。この水戸黄門漫遊マラソンは南町2丁目をスタートし千波湖を左に眺めながら茨城県庁、ケーズデンキスタジアム、イオン水戸内原店を通りゴールのある茨城県三の丸庁舎へと進む道のりです。

大会当日は、朝から晴天にも恵まれランナーにとっては最高のコンディションとなりました。我々も第1回大会でのランナーサポートに期待と不安が入り交じる思いで19.4km地点の日本農業実践学園直売所、33.2km地点の千波湖西駐車場の2地点にテントを張り、ベッド、トレーナーバッグ、テーピング、コールドスプレー、大量の水等を準備し競技開始に備え待機していました。

9時のスタート時点では、作業がよりスムーズに進めるように、道具や椅子、テーブルの配置等の入念な確認に追われながらも、まだまだ静けさを感じ、遠くの路上にランナー達の走る姿を覗きながらのんびりとした雰囲気でした。約2時間後、先導する2台の白バイが見え、トップ集団が軽快に走り抜けその数分後の大集団通過時に一人のランナーが脚の痛みを訴えて入ってきました。その後、続々と体の痛みを訴えるランナーの対応に四苦八苦しながらも9割以上のランナーをレースに復帰させると同時に救急時にはドクターとの連携もスムーズに行われました。2地点合わせて300名以上のランナーをケアし、90%超という高い完走率のお手伝いできたかと思います。

主な手当の内容は、筋肉疲労による張りや腰、股関節、大腿部、膝、下腿部の痛みや痙攣、転倒による捻挫、靴擦れ、マメを潰したなどで、包帯固定、キネシオテープやホワイトテープによるテーピング、コールドスプレーや氷嚢でのアイシング、手技療法によるストレッチ等で対応しました。

私自身、マラソンのスタッフとして初めて参加させていただきましたが、その中で最も印象に残って

いることは、どんなに大変な状況のランナーでも、皆さん口をそろえて、「ゴールまでの距離はどの位ですか?」、「今の時間は何時ですか?」、「ここからだゴールまで何分位ですか?」と、是が非でもゴールするぞという思いが伝わり、処置を終え走り出す際には「ありがとうございました。ガンバリます!!」と声をかけていただき、ランナーを励ますはずの私達の方が、ランナーから励まされているような気持ちになりました。

私達は、普段施術所の中だけの作業が多く、ランナーを処置後すぐに競技に送り出すというような場面はそれほど多くはないと思います。そんな中、水戸黄門漫遊マラソンを通してランナーの生の声や気持ちに触れ、改めて、まだまだ学ぶことがたくさんあることを感じました。そしてこの貴重な経験を活かして、これからも常に切磋琢磨し、地域に貢献していきたいと思います。

第10回公益社団法人 茨城県柔道整復師会親睦ゴルフ大会を開催

11月27日(日)水戸市の浅見カントリー倶楽部で開催されました。

この大会は、公益社団法人茨城県柔道整復師会の会員並びに事業運営にご協力いただいている関係者にご参加いただき、会員及び関係者が一堂に集い、もって相互の親睦を図ることを目的に実施されています。今回は、10回記念大会でもあり総勢61名が出場して、日頃の練習の成果を発揮し、楽しくラウンドしました。

その後、午後4時から表彰式が行われ、関係団体より多数の賞品を提供していただき、参加者それぞれうれしいお土産を持って帰ることができました。

上位4人のネット合計で争われる支部対抗団体戦の優勝は、298.6で水戸支部(藤田利光、川又力男、帯刀光司、長野靖志)、個人戦はネットの部、長野靖志会員、グロスの部、高田博美会員、シニアグロスの部、瀧本健司会員がそれぞれ優勝しました。

(広報副部長 高儀和広)



61名の参加者で大いに盛り上がりました



支部対抗団体戦優勝の水戸支部会員へ優勝カップ授与

私の格言・杖言葉

県南支部長 一ツ柳 明

佛心鬼手

この格言は、私が修行していた(故)池添誠祐先生の元を卒業する時に、「書」にして贈っていただいた言葉です。40年以上経った今も施術室に掲げております。

鬼の手と仏の心を兼ね備えた柔道整復師にならなさい。これは接骨道の原理であると説かれました。

学(柔道整復学)、術(柔道整復術)、道(柔道)の修行を通して、柔道整復師の臨床における技術者、つまり接骨の職人と成れるよう努め、一歩でも恩師に近づくよう生涯修行中です。

救護員派遣の近況

10月9日(日)

第22回関東ママさんバスケットボール交歓大会

ひたちなか市総合運動公園体育館

川又充史、羽石勝、渡邊憲史、中野徹(県北支部)

42名の選手にテーピング、湿布、包帯固定等の処置をしました。

10月10日(月・祝)

第22回関東ママさんバスケットボール交歓大会

ひたちなか市総合運動公園体育館

薬谷和彦、荘司智也、宮部和浩(水戸支部)

40名の選手にテーピング、ストレッチ等の処置をしました。

10月30日(日)

第1回水戸黄門漫遊マラソン

日本農業実践学園直売所(19.4km地点)、千波湖西駐車場(33.2km地点)

嶋崎英恭、藤田博美、薬谷和彦、久保田浩将、新井俊行、高田敬、岩本勝久、早川好機、種村高之、宮部和浩(水戸支部)

300名以上のランナーにテーピング、アイシング、ストレッチ、包帯固定等の処置をしました。

11月3日(木・祝)

茨城県4地区対抗柔道大会

茨城県武道館柔道場

杉本秋生、小坪孔二(水戸支部)

2名の選手に湿布、アイシング等の処置をしました。

11月13日(日)

平成28年度茨城県ママさんバスケットボール秋季大会

常澄健康管理トレーニングセンター

石川博英、古内裕人(県北支部)

38名の選手にテーピング、湿布等の処置をしました。

11月20日(日)

第36回つくばマラソン

大和ハウス敷地(29km地点)

吉原貴範、飯塚丈仁、内館秋男、齋藤正仁、桜井亮、鮎川秋雄、高巢定夫、田中広一、永田喜久雄、望月末男、山崎久史(県南支部)

465名の選手にテーピング、ストレッチ、アイシング等の処置をしました。

11月27日(日)

平成28年度茨城県ママさんバスケットボール秋季大会

常澄健康管理トレーニングセンター

高柿義弘、宮部和浩(水戸支部)

20名の選手にテーピング、ストレッチ、アイシング等の処置をしました。

野球肘を語る会を開催

11月19日(土)水戸赤十字病院にて第1回の野球肘を語る会(仮称)が開催されました。この会は、本会が実施している投球障害調査について、日頃から大変なご理解とご協力をいただいている、水戸赤十字病院副院長の上牧裕先生が、もっと野球の現場目線で他職種が連携し野球選手の外傷・障害の予防を目指そうということで、水戸赤十字病院、水戸協同病院、筑波大学の医師・理学療法士・トレーナーに声をかけていただき開催の運びとなりました。

冒頭で、上牧先生から、今後の高校野球では甲子園出場校選手全員のメディカルチェックと投手の診断書提出が義務化されるということで、野球少年団・中学生・高校生への啓蒙活動と検診活動が重要であるというお話をいただき、現状報告として理学療法士、トレーナー、医師、柔道整復師の順でそれぞれの活動を報告しました。

柔整からは、投球障害調査リーダーの箱守志農夫会員が2011年～2015年の総調査数1520名のデータを説明し、水戸協同病院の小川健先生からは年代別のデータは非常に興味深く有効であり、野球肘検診の有用性が認められるとの講評をいただきました。

最後に、この会の今後の活動について、茨城県高校野球連盟や筑波大学、スポーツ整形外科との関係について検討事項として、次回開催を予定し閉会となりました。(広報委員 岩本勝久)



野球選手の外傷・障害の予防を目指そうと開かれた語る会

■新入会員■



川股 和博(かわまた かずひろ)

昭和24年1月2日生まれ

ベスト整形外科 龍ヶ崎市寺後3635

0297-85-4541

《訃報》

荘司 京子(しょうじ きょうこ)

水戸支部 荘司智也会員の母

9月17日死去 80歳

大塚 きい(おおつか きい)

県西支部 大塚宏守会員の母

10月13日死去 68歳

雨谷 榮治(あまが い えいじ)

県南支部 雨谷紀雄会員の父

10月24日死去 81歳

飯塚 景子(いいつか けいこ)

県南支部 飯塚肇会員の母

12月2日死去 90歳

茨整発【県民健康講座】

外反母趾とは

足の親指が小指側に変形し《くの字》になる状態を言います。

症状の進行によって痛みを覚え、歩行時や起立時に痛みを感じようになる場合があります。

原因

1. 歩き方

最大の原因は足の裏の筋肉の未発達。

靴で足を覆い、足指を使って踏ん張らず指の付け根で歩いているため足底筋群が発達せず親指が曲がってしまう。

2. 靴

サイズが合わない靴、ヒール、パンプス、脱げやすい靴に注意!!

3. 運動不足

現代の日本は運動不足が増加。ゆえに足の骨格を保つための筋肉が低下し悪化につながります。

4. 遺伝

5. 足の指が長い

6. 足首が内側に傾いている

7. 裸足で歩く機会が少ない



種類

1. 靭帯性外反母趾

最も多い症状で足指の付け根にある中足靭帯が緩んで指が広がってしまった状態。

2. 仮骨性外反母趾

親指は曲がらないのに親指の付け根の骨だけが出っ張ってしまう状態

3. 混合性外反母趾

1と2が合わさった状態

4. ハンマートゥ外反母趾

生まれつき指が縮こまっていたり、ハンマーのように曲がっていたり、上を向き過ぎている状態。

5. 病変性外反母趾

関節リウマチやヘバーデン結節などの病気で起こる。

好発

外反母趾の患者は男性より女性の方が10倍以上多い!!

ただ現代の日本人は、運動不足、裸足で歩く機会が少ないため、子供、男性にも増加している。

子供がなぜ? 運動不足、ヒール、パンプス着用の低年齢化!!

《チェック方》

1. 親指と親指の付け根での出っ張りに定規を当てて線を引きます。

写真の「青の線」



2. 次に親指の付け根とかかとの内側に定規を当てて線を引きます。

写真の「赤の線」

3. 1と2の交差する部分の角度を確認します。

15度未満	正常
15～20度未満	軽度の外反母趾
20～40度未満	中度の外反母趾
40度以上	重度の外反母趾

外反母趾で痛みを伴っている人は全体の5%と少ないです。

しかし、痛みがないに関係なく外反母趾が原因となり膝、腰、首の慢性痛や、めまい、便秘、不眠等の自律神経失調症など深刻な症状を引き起こすこともあります。

上半身を支える上で土台となるのが足です。

少しの努力と心がけで健康な体を手に入れましょう。

次回テーピングの貼り方、対処法（運動療法）を紹介します。

(広報委員 渡邊憲史)

物理療法機器、介護福祉具
健康機器販売

関東医療商事

〒319-2221 茨城県常陸大宮市八田 1127-5
TEL 0295-53-4211 FAX 0295-53-3383



医療機器

株式会社 ユタカ商事

〒273-0002

千葉県船橋市東船橋 5-3-6

TEL 047 (422) 1311 (代)

FAX 047 (423) 1190

URL: <http://www.yutaka-me.net>

アフラックは
がん保険
契約件数 **No.1**
※過去5年間で「アフラック」が最も多くがん保険を契約した会社

新 生きるための がん保険 Days

「生きる」を創る。 **北関東ファミリー株式会社**
Aflac **0120-48-3376**
〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2-14-1
FAX 029-248-8522

ご存知ですか？ 茨城県は

全国自動車盗難件数 **増加率**



年々増え続ける
犯罪やトラブル防止のため、
防犯カメラの設置をお勧めします。



ただいま**組合員様特別価格**で ご提供中



株式会社システムコピー販売

お客様相談室 **0120-916-903**

<http://www.systemcopy.com/>

つくば本社 つくば市上ノ室 285-1 **水戸営業所** 水戸市米沢町 108-2

しもつま **ビオスパークしもつま**
下妻市長塚乙 70-3 ☎0296-30-5121



日帰り天然温泉・ホテル・宴会
地ビールレストラン・農産物直売所

印刷のことなら全ておまかせ！



株式会社 タナカ

代表取締役 田 中 司 郎

情報メディア営業部 水戸営業所

〒310-0847 水戸市米沢町1-1

TEL 029 (247) 1810 FAX 029 (247) 9568

URL <http://www.tanakanet.co.jp>

保険の見直しをしてみませんか？
あなたに『ベストな保険』のお手伝いをいたします！



三井住友海上火災保険 ハイグレードエージェント
三井住友海上あいおい生命 プレミアムパートナーズクラブ

日本興亜損害保険 特級代理店
NKS Jひまわり生命保険

サンツクバ 株式会社

お問い合わせ

TEL.029-841-5858

サンツクバ

検索

詳しくはホームページをご覧ください。

土浦市中村南 1-2-23 URL <http://www.suntsukuba.com>

サービス継続率88%以上!!

月額 **3,000円** (税抜) で
ホームページを制作

ほねペじ は接・整骨院専門の
格安ホームページ制作サービスです
★初期制作費として初回のみ別途30,000円(税抜)がかかります。

お問い合わせ・お申込みはこちら
029-828-4055 **ほねペじ** **検索**

運営会社：株式会社保険金支払審査機構 〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2

団体保険は接骨院経営者の基礎となる保険です!

柔道整復師 総合補償制度

総合保険コンサルタント・賛助会員
アームリンク株式会社

代表取締役 小林 和義
TEL 027-255-3233
URL <http://armlink.org>



ニッセイ長寿生存保険(低解約払戻金型)

GranAge

“大切な人を想う”のいちばん近くで。

 **日本生命**

シアワセを記憶する、ホテル



伊勢屋グループ
水戸プラザホテル Tel.029-305-8111 (代表)

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2078-1 <http://www.mito-plaza.jp/>

住宅の事なら何でもご相談ください

上質な美しさと、快適で安心な最上級の住み心地、セキスイハイム。

セキスイハイム

新築・建替え リフォーム
アパート 不動産売買・仲介

おかげさまで
2万棟
茨城県内

お問合せ・資料請求・ご相談・展示場へのご来場予約は
0120-013-816 または **茨城セキスイハイム** **検索**

茨城セキスイハイム株式会社 〒310-0804 茨城県水戸市白梅 1-7-11

TRIO

信頼のネットワーク 地域密着 Door to Door

トリオ医科 株式会社

〒300-1216 茨城県牛久市神谷 6-6-1
TEL029(873)8553 FAX029(873)8796
東京(営)大田区・北関東(営)館林

使い勝手の良い操作性はもちろん、
療養費改正等の保険改正にすばやく対応。
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



三四郎くん は、
日本全国で最も多く使われている
接骨院・整骨院専用のレセコンです!

他社からの
データ移動も
お任せ下さい
※一部ご希望に添えない
場合があります。

オプションで
さらに便利!

保険証リーダー サーマルプリンタ バーコードシステム

株式会社 エス・エス・ビー
〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル
TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874
Web <http://www.sanshiro-net.co.jp>

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
▶▶ <http://www.jusei-news.com/>